

「保護者学校評価(7月)」等をもとにした学園の対応について

秋涼の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、白川郷学園の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様による「学校評価アンケート」(7月)の数値結果(裏面参照)やご意見、学校職員による「グランドデザイン会議」(8月)、学校運営協議会の皆様による「学校評価アンケート」(8月)を受け、今後の学園の対応を検討いたしました。コロナ禍において、新年度の教育活動期間が少なく制限もある中でしたので、昨年度末にお知らせした「学園の対応」を基本としています。

今後も、教育目標「ひとちだち」に向けて充実した学校教育を目指してまいりますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【主な対応】

(1) 『「けじめ」ある生活ができる子』を育成します

生活ルールの徹底とともに、子どもたちの言葉遣いに気を配り、即時の指導を行います。また、PTAや学校運営協議会、村保健安全委員会等との連携のもと、あいさつやスマホ・ゲーム関わる啓発活動を継続します。

<数値結果・ご意見>

- ▲評価項目④「あいさつ」2.72 (やや低め)
- ▲評価項目⑦「あたたかい言葉」2.68 (やや低め)
- 挨拶したり手を振ったりした時に、低学年の子が返してくれる。
- ▲挨拶できる子とできない子の差がかなりあると思う。
- ・挨拶の意義を、大人が一緒になって伝えていきたい。

(2) 『探究心を抱いて学べる子』を育成します

学習習慣の徹底や深い学びのある授業づくりのため、職員教科部会を機能させ、更なる授業力向上を目指します。「みがき」の時間の工夫改善を図り、自己課題解決意欲を高めます。家庭学習については、ご家庭の協力を得ながら進めていきます。

<数値結果・ご意見>

- 評価項目⑤「授業への意欲」3.01
- ▲評価項目⑥「家庭学習」2.69 (やや低め)

(3) 『心身ともにたくましい子へこたれない子』を育成します

生活習慣形成(眠育・食育など)の指導を行います。心身に困り感をもつ児童生徒には、保護者との共通理解のもと、社会に出るために必要な力をつけられるよう支援してまいります。

<数値結果・ご意見>

- 評価項目③「いじめ事案、不登校・不適応対応」3.19 (やや高め)
- 思春期真っただ中の子ども達に全力で向き合ってきている。
- ・子ども達に対し心からの対応で、頭も体も、そして心も育つ意義ある学園生活を願っています。

(4) 『村・学園のよさ、自分自身をPRできる子』を育成します

学校運営協議会との連携により、村民学の継続・充実を図ります。交流活動や来校者への学園紹介などを繋ぎながら効果的に行い、表現力を育てます。また、より効果的なICT活用ができるよう、工夫改善を図ります。

<数値結果・ご意見>

- 評価項目⑩「学園・学校行事の内容」3.29 (やや高め)
- オンライン授業を迅速に始めてくださり、規則正しい生活が送られて、本当にありがたかったです。
- ・コロナの影響で学習面が心配になりましたが、Zoom授業を通して、通常の授業とは違った成長を感じることができました。

ご家庭でも「できること」を考え実践していただくなど、ご協力をお願いいたします。

ご質問等は、担当(6-1366 教頭:木下・岸)までご連絡ください。